

令和6年度 モビリティ・観光立国系
一般職（大卒程度）
内定者 GUIDEBOOK



国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

日本の未来を切り拓く。それは言葉で言うほど容易ではない。

霞が関から現場まで職員一人ひとりがつながり、

国の将来ビジョンを共有しながら

チーム力で政策課題に立ち向かおう。

安心安全な国土や人と人の結びつきという社会基盤を築き上げ

次世代に譲り渡すこと。

ダイナミックなインフラによって歴史を紡いでいくこと。

革新的アイディアで社会をより良くする政策を描き、形にしていくこと。

それこそが、我々の使命である。

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure and Transport



= 目 次 =

1

概要説明

組織概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3

採用活動と人事異動について・・・・・・・・ P 4

内定者基本情報紹介・・・・・・・・・・ P 5

2

国家公務員採用試験対策

3

官庁訪問対策

4

その他お役立ち情報満載



組織概要

○国土交通省とは

- ・国土の総合的かつ体系的な利用、開発および保全、そのための社会資本の総合的な整備、交通政策の推進、観光立国の実現に向けた施策の推進、気象業務の発展、海上の安全および治安の確保などを担う官庁
- ・2001年（平成13年）1月6日に、旧4省庁（北海道開発庁、国土庁、運輸省及び建設省）を母体として設置

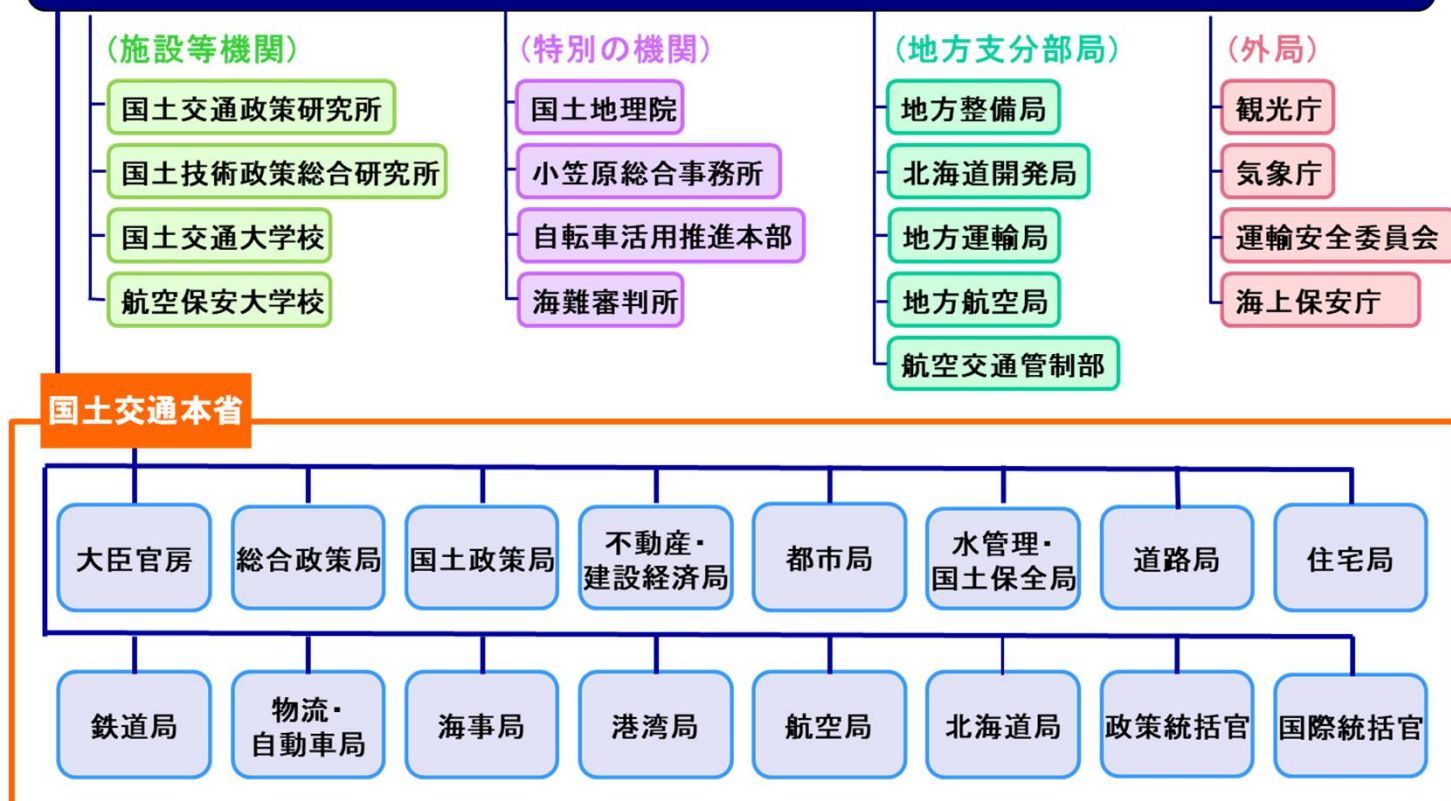
○使命

「国民の命と暮らしを守る」

○国土交通行政の5つの目標

1. 自立した個人の生き生きとした暮らしの実現
2. 競争力のある経済社会の維持・発展
3. 安全の確保
4. 美しく良好な環境の保全と創造
5. 多様性のある地域の形成

国 土 交 通 省





採用活動と人事異動について

国土交通本省では、採用活動と人事異動は【社会資本整備系】と【モビリティ・観光立国系】の2つの系統に分けて行っております。
入省後に系統を変更することはできません。
官庁訪問の予約時にどちらかの系統を選択していただきます。

国土交通本省・観光庁

〔1〕大臣官房

共通

〔2〕総合政策局

〔3〕国土政策局

〔4〕不動産・建設経済局

社会資本整備系

（インフラ整備・防災対策）

〔5〕都市局

〔6〕水管理・国土保全局

〔7〕道路局

〔8〕住宅局

〔9〕鉄道局

〔10〕物流・自動車局

モビリティ・観光立国系

〔11〕海事局

〔12〕港湾局 【※】

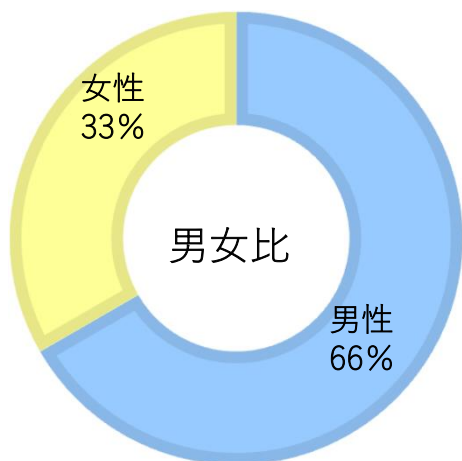
〔13〕航空局 【※】

〔外局〕観光庁

〔14〕北海道局 〔15〕政策統括官 〔16〕国際統括官

【※】モビリティ・観光立国系の港湾局と航空局については本省採用からの配属はありません。
配属を希望される方は各地方整備局、各地方航空局での採用面接を受けてください。

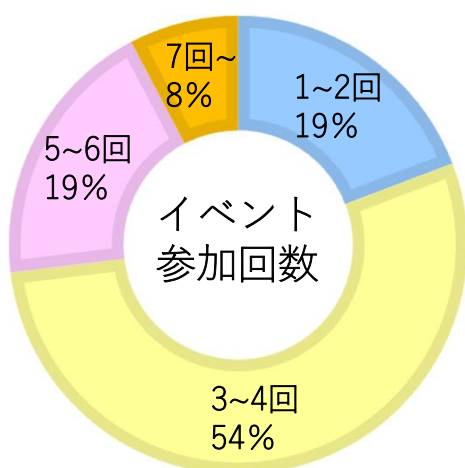
内定者の基本データを大公開！！



積極的に女性も採用しています。

出身地		
北海道	茨城県	埼玉県
千葉県	東京都	神奈川県
新潟県	長野県	静岡県
愛知県	京都府	大阪府
島根県	福岡県	沖縄県

首都圏在住の学生ばかりではありません！
北は北海道、南は沖縄まで、毎年様々な地域の学生が内定を勝ち取っています！



オンラインでもイベントを開催しており地方在住の学生も気軽に参加できるようになっています！
多くの内定者が複数回イベントに参加しています！

出身学部		
法学部	法文学部	法政経学部
文学部	人文学類	人文社会学群
文理学部	商学部	観光学部
国際観光学部 国際日本学部	国際日本学部	国際地域学部
都市科学部	農学部	理工学部

国公立・私立問わず、出身学部は関係ありません！
理系出身の内定者もいます！
志を高く持った学生の皆さん、大歓迎です！

1

概要説明

2

国家公務員採用試験対策

勉強方法・最も力を入れた試験・・・・・・・・P 7

教養試験対策・・・・・・・・P 8

専門試験対策・・・・・・・・P 9

論文試験対策・・・・・・・・P 10

人物試験対策・・・・・・・・P 11

試験対策で苦労・工夫したこと・・・・・・・・P 12

公務員試験を振り返っての反省点・・・・・・・・P 13～15

3

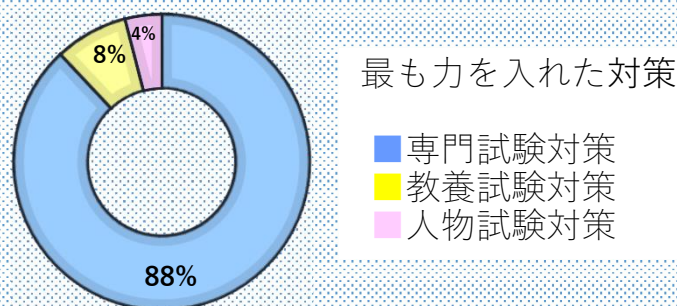
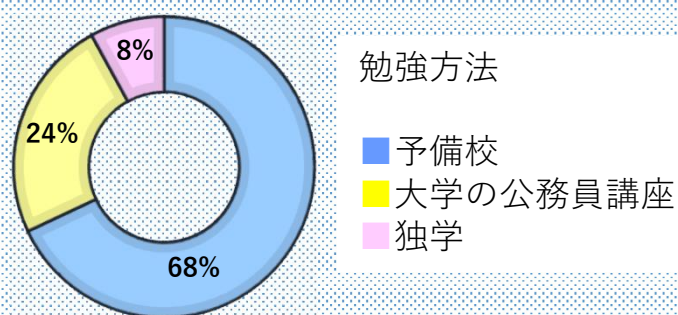
官庁訪問対策

4

その他お役立ち情報満載

Q 1

公務員試験対策のための勉強方法を教えてください。
また、対策に最も力を入れた試験は何ですか？



専門試験派

- ・試験の中でも専門試験の配点が高いため。
 - ・専門科目が全て初めて勉強する内容であり、内容を理解するには時間を費やす必要があると思ったため。
 - ・暗記中心の専門科目なら頑張れば点数を稼ぐことが出来ると思ったため。
 - ・時間をかけて幅広い科目を勉強することで、本番で柔軟な科目選択ができると思ったため。
 - ・学習をしていて楽しかったため。
 - ・教養試験科目が苦手であることから、専門試験科目を得点源にしようと思ったため。
- など

教養試験派

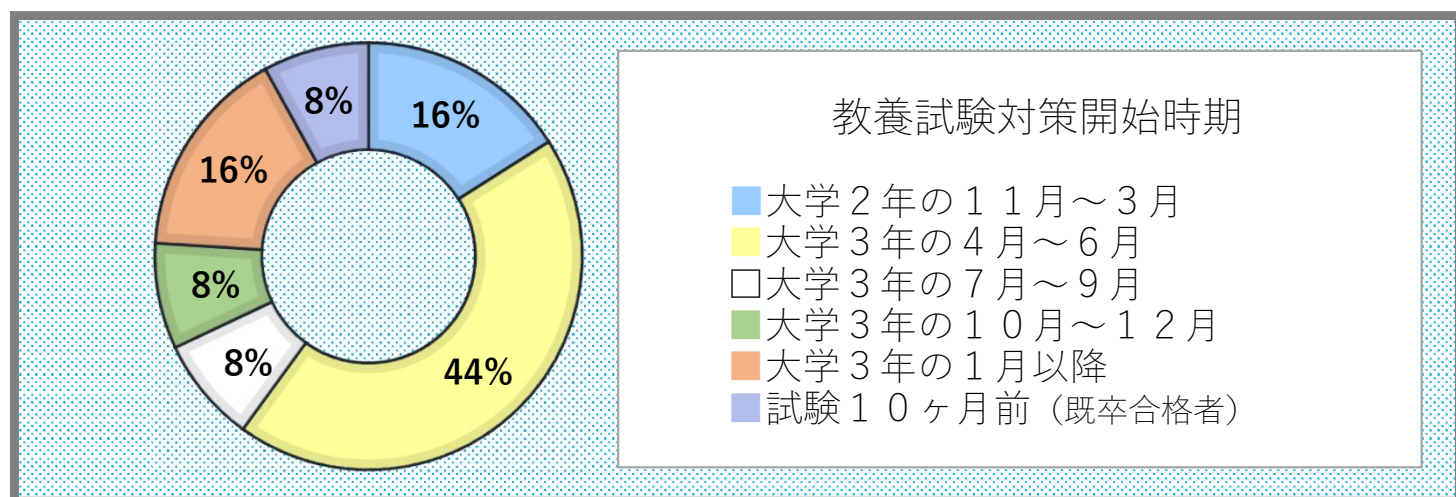
- ・暗記科目が苦手なこともあり、出題数が多い数的処理で点数を稼ぐ必要があると思ったため。
- ・数的処理が苦手な時間をかけて対策する必要があるため。

人物試験派

- ・面接に苦手意識があったので、数多くの面接を受けて実践経験を積もうと考えていたため。

Q 2

教養試験対策の開始時期や
対策方法、試験の感想を教えてください。



試験対策

- ・ 本番を想定して時間を計りながら問題演習をしていた。
- ・ 似たような問題をカテゴライズして解き方をまとめた。
- ・ 数的処理は、ある程度インプットを終えたら問題集の頻出分野のみ反復を行っていた。
- ・ 数的処理が苦手で安定しなかったので、最低限の勉強時間に留め、残りは専門試験対策に勉強時間を割いた。
- ・ 解き方が分からない問題はすぐに回答で解法を確認した。
- ・ 文章理解は過去問や問題集を解いて、出題形式に慣れるようにした。
- ・ 時事問題は直前期に詰め込んだ。

など

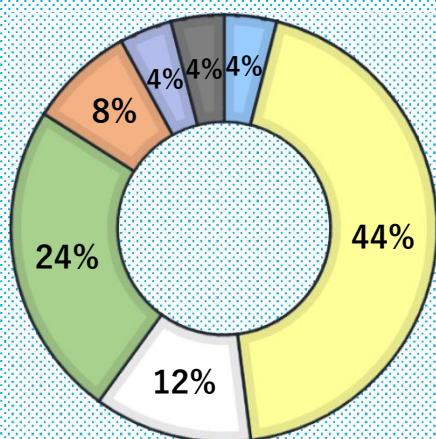
試験の感想

- ・ 当日も普段と同じタイムスケジュールで行動をすることで、緊張を和らげました。
- ・ 時間的な余裕がなく途中で焦ったが、解ける問題から取りかかることで確実に点に繋がるようにしました。
- ・ 時間が足りず、全ての問題を解くことができませんでした。
- ・ 問題集で対策を怠らなければ、安定して得点が取れると感じました。

など

Q 3

専門試験対策の開始時期や
対策方法、試験の感想を教えてください。



専門試験対策開始時期

- 大学2年の3月以前
- 大学3年の4月～6月
- 大学3年の7月～9月
- 大学3年の10月～12月
- 大学3年の1月以降
- 試験9ヶ月前（既卒合格者）
- 試験10ヶ月前（既卒合格者）

試験対策

- ・10科目分の対策を行っており、2日のスパンで全科目を勉強できるように勉強スケジュールを立てていた。
- ・問題集の1周目は基本問題のみ解き、2周目以降では一部応用問題にも触れ、学習範囲を広げていった。
- ・電車に乗っている時間などのスキマ時間で暗記科目を勉強していた。
- ・配点の比重が高いため多くの時間を割いて勉強していたが、民法は範囲が広いことから過去の傾向を分析し、出題頻度が高い単元を集中的に勉強した。
- ・重要な論点や公式（経済分野）などはノートにまとめ、試験当日も会場に持参した。 など

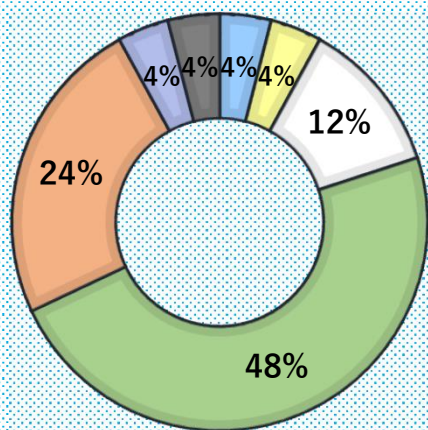
試験の感想

- ・試験時間が長かったため、途中で集中が切れてしまいました。
- ・幅広い科目を勉強していたので、当日は柔軟な科目選択ができました。
- ・本番の経済科目は難しかったため、保険として勉強していた社会学と経営学を選択しました。
- ・本番では経済科目が難しく、対策していなかった国際社会、教育学、英語基礎などを選択して何とか点数を確保することができました。
- ・本番の経済学は難しかったが、対策できていたという理由で選択した。しかし、英語基礎など自分が少しでも得点できそうな科目を選択すれば良かったです。 など

Next question>>

Q 4

論文試験対策の開始時期や
対策方法、試験の感想を教えてください。



論文試験対策開始時期

- 大学3年の4月～6月
- 大学3年の7月～9月
- 大学3年の10月～12月
- 大学3年の1月～3月
- 大学4年の4月以降
- 試験4ヶ月前（既卒合格者）
- 試験5ヶ月前（既卒合格者）

試験対策

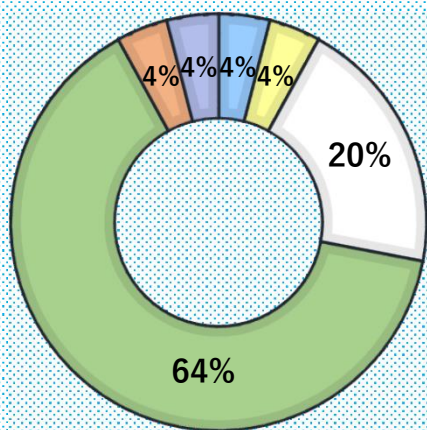
- ・ 社会問題に対しての政府の方針や対策を調べ、知識を浅く広く定着させた。
 - ・ 繰り返し論文を書き、講座の先生に添削をしてもらっていた。
 - ・ 予備校の論文対策問題集の模範解答を20本暗記していた。
 - ・ 夕食時にニュースを観て、社会問題についての情報を仕入れていた。
 - ・ 模試以外で論文を書く機会はなかった。
 - ・ 市販のテキストを使用していたが、あくまで論文の「型」を掴むために使用していた。論文の題材となる「ネタ」はニュースなどを通じてインプットした。
 - ・ 講座で配布された先輩の参考答案を見て、論文の評価基準などを分析した。
- など

試験の感想

- ・ 想定外のテーマだったので動揺したが、問題文の資料を引用しつつ、自分なりの見解や今後の動向を考えながら論じました。
 - ・ 試験時間の短さに焦ってしまい、字が乱雑になったり、書きたいことを書ききれませんでした。
 - ・ 試験中は焦ってしまい、論文の結果が出るまでは不安でした。
 - ・ 問題文の資料にヒントが多くあったので、落ち着いて書くことができました。
 - ・ 本番の問題は、練習で解いた問題と類似していたので、焦らず時間内に解くことができました。
- など

Q 5

人物試験対策の開始時期や
対策方法、試験の感想を教えてください。



人物試験対策開始時期

- 大学3年の10月～12月
- 大学3年の1月～3月
- 大学4年の4月～5月
- 第一次試験終了後
- 試験3ヶ月前
- 試験1ヶ月前

試験対策

- ・ 講座の講師やゼミの先生、友人などに面接官をしてもらい、練習をした。
 - ・ 希望省庁に関する希望情報や政策についてインターネットで調べた。
 - ・ 国家公務員を志望した理由について述べられるよう、説明会への積極的な参加とともに国家公務員という立場への理解を深めた。
 - ・ 本番での柔軟な受け答えのために、事前に質問に対する答えを考えすぎないようにした。
 - ・ ハローワークや大学の就職支援室を利用し、なるべく多くの方のアドバイスを貰うようにした。
 - ・ 話す内容だけでなく、話している時の表情にも気を付けて面接練習を行った。
- など

試験の感想

- ・ 面接部屋が想像していたよりも大きく、入室時に驚きました。
 - ・ 想定内の質問だったので落ち着いて受け答えをすることができました。
 - ・ 想定外の質問がありましたが、焦らずに自分の言葉で話すことを意識することができました。
 - ・ 人事院面接は、前に受けた面接の改善点を意識しながら受けました。
 - ・ 面接の順番が最初だったので緊張しましたが、いざ始まると特に問題はありませんでした。
 - ・ 頭の中で考えている回答を人前で言葉にするのが大変でした。
- など

Q 6

公務員試験対策で苦労したことや工夫したことを教えてください。

苦労したこと

- ・一日拘束されるアルバイトをしていたので翌日勉強に切り替えるのが大変でした。自分にとって無理のない勉強スケジュール組むことを意識しました。
- ・塾講師のアルバイトで大学受験生の担当をしていましたが、大学の期末試験と公務員試験対策の時期が重なったときは苦労しました。そのため前もって計画を立てることを意識し、その日に実行すべきことを明確にし、可能な限り実行しました。
- ・ゼミ活動が忙しい時期に公務員試験対策が疎かになり焦りましたが、割り切ってゼミ活動に集中しました。

など

工夫したこと

- ・通学時間などのスキマ時間を活用したり、アルバイトを減らして勉強時間に費やしていました。
- ・1週間の勉強スケジュールに1日だけ何もしない日を作り、予定通り勉強ができなかった時のための保険としていました。
- ・ゼミに関する勉強は大学で行い、公務員試験対策は図書館で行うことで、メリハリをつけて勉強していました。
- ・部活動やアルバイトは息抜き程度で行っていました。試験直前期に参加できない旨は前もって伝えており、周囲からの理解を得ることができました。

など

Q 7

試験勉強中の息抜き方法は？

第1位 友人と会う

第2位 音楽を聴く

第3位 散歩、ランニング



○その他の回答

- ・美味しいものを食べる
- ・美術鑑賞
- ・旅行
- ・テレビ番組を見る
- ・ドライブ
- ・サウナ
- ・カラオケ
- ・アルバイト
- ・場所を変えて勉強する
- ・散歩
- ・YouTube
- ・電話

Next question>>

Q 8

公務員試験を振り返っての反省点を教えてください。

Voice 1

筆記試験の対策に力を入れるあまり、面接対策の開始が遅れてしまったことです。面接カードの作成や面接練習、説明会の参加など面接試験直前は忙しかったので余裕を持ったスケジュール管理をしておけばよかったと反省しました。

Voice 2

自分の身体を犠牲にしすぎてしまったことです。1週間に1回くらいは勉強せずに自分の時間を過ごすべきでした。それに加えて、睡眠時間を削ることなどもせずに、無理のないスケジュールを立てるべきでした。

Voice 3

筆記試験が終わった時に燃え尽きてしまい、人物試験対策が疎かになってしまったことです。公務員試験は人物試験がかなり重要だと感じたので、人物試験対策をしっかりと行うことでもっと自信を持って人物試験に臨むことができたと思います。

Voice 4

ゼミナール活動が忙しく、公務員試験対策を始めるのが遅くなってしまったことです。前もって自分がどのくらいの時間を公務員試験対策に使えるのかを考えて予定を立てておくのが大切だと思いました。



Voice 5

第1志望に合格したので、後悔することはないです！

Q 8

公務員試験を振り返っての反省点を教えてください。

Voice 6

インターネットの情報に踊らされたことです。インターネット上で勉強法や面接対策を調べるうちに何が正解かわからなくなってしまい、複数の記事やテキストを購入したが、時間とお金の無駄だったと感じています。自分自身の中で指針となる情報源をしっかりと定め、それに沿って行動するべきだったと反省しています。

Voice 7

計画的に勉強を進めていたつもりが、全ての範囲が固まるまでに予想以上に時間かかってしまい、試験直前まで追い込んでしまったところは反省点だと感じました。計画の段階から余裕をもったスケジュールを組むように心がけ、予備期間のようなものを取り入れるのも良いのではないかと感じています。

Voice 8

メンタルをうまく維持することができなかったことです。民間企業への就職活動中の友人と話をしたり、両親と電話をしたりしてできるだけ気持ちを追い込まないようにしていました。

Voice 9

苦手な科目の勉強を避け、好きな科目ばかり勉強していた時期があった点です。また、面接に対しても人一倍苦手意識があったのにもかかわらず、対策を一次試験後まで先延ばしにしていたことも反省点です。

Voice 1 0

頻繁にだらけたり、不安になったりして集中できない期間があったことが反省点です。また併願先の面接がうまくいかず、もう少し早くから面接対策を始めていれば心に余裕があったかもしれません。ですが最終的に第一志望の国土交通省から内定を頂けたので良かったです。

Q 8

公務員試験を振り返っての反省点を教えてください。

Voice 1 1

自分にとって専門試験科目の民法が一番ハードだったので、もう少し早く勉強を始めるべきでした。
試験の合格発表から官庁訪問の予約開始までの期間が短いため、あらかじめ面接カードに記載する内容を用意しておくべきでした。
また、一次試験に合格したことで満足してしまい、二次試験の対策を十分にできなかったことも反省点です。

Voice 1 2

頻繁にだらけたり、不安になったりして集中できない期間があったことです。また、面接もうまくいかないことが多く、もっと早い段階で面接対策を始めておくべきでした。

Voice 1 3

試験対策を開始したのが遅かったことです。専門科目の問題集が2周までしかできなかったため点数を伸ばせませんでした。もっと余裕をもって専門科目に取り組めれば良かったと思います。

Voice 1 4

夏休みや冬休みに遊び過ぎて、勉強していなかったことです。直前期に焦って勉強していましたが、体調を崩して試験に挑むことになったため、早めに対策することの重要性を痛感しました。

Voice 1 5

筆記・人物試験両方において自分の納得いく対策ができず、気を張り続けていたことです。結果的には併願先も含めてすべて合格していたので、もう少し友人と遊んだり、リラックスする日があってもよかったのかなと感じています。

1

概要説明

2

国家公務員採用試験対策

3

官庁訪問対策

情報収集方法、併願先 P 1 7

対策開始時期と具体的な対策方法 P 1 8

官庁訪問日と心がけたこと P 1 9

苦労した点と感想 P 2 0

待機時間・前日の過ごし方 P 2 1

官庁訪問を振り返っての反省点 P 2 2

国土交通省への決め手 P 2 3 ~ 2 5

国土交通省職員の印象 P 2 6

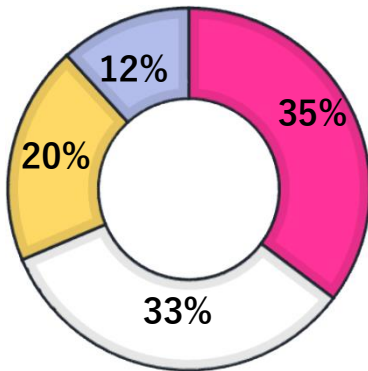
4

その他お役立ち情報満載

官庁訪問編

Q 1

国土交通省の業務内容等について
どのように情報収集をしていましたか？



情報収集の手段

■ HP □ イベント ■ X (旧Twitter) ■ Instagram



お役立ち情報てんこ盛り。
今すぐCheck！！

◆採用HP



◆Facebook



◆X(旧Twitter)



◆Instagram



基本情報はHP
+ αな情報は
Instagramから！

- ・業務説明会
- ・テーマ別説明会
局ごとの業務について深く知ることができた！
- ・座談会
職員の雰囲気を知ることができた！

X(旧Twitter) を
フォローすることで
採用情報、説明会情報など様々な情報を
ゲットできた！

若手職員の方の
仕事内容や、やりがい、そして
志望動機など
Instagramで知る
事が出来た！

Q 2

官民間わらず、併願先を教えてください。

総合職

他省庁

裁判所事務官

国税専門官

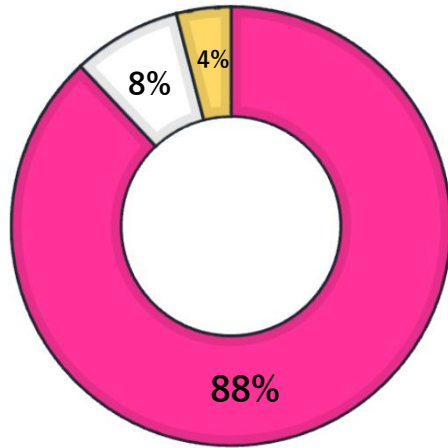
都道府県庁

市役所・特別区

国立大学法人

民間

官庁訪問の対策開始時期と具体的な対策方法



対策開始時期

- 第一次試験終了後
- 大学4年の5月
- 大学2年の夏

Answer

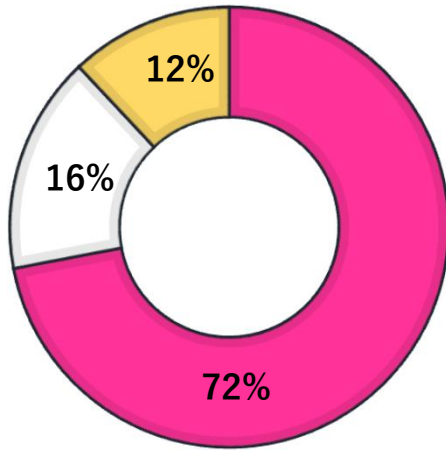
- ・説明会に積極的に参加することに加え、HP等で国土交通省が力を入れていることについて頭に入れ、説明できるようにしていた。
- ・はじめに自己分析をしたうえで、社会問題、政策、併願先との差別化について掘り下げられても答えられるようにしていた。まとめた考えは「想定質問集」としてまとめ、それを基に予備校の先生や友人と面接練習をした。
- ・WEB説明会や座談会に積極的に参加して情報収集を行っていた。気になったトピックや業務については「〇〇 国交省」と検索して資料収集をした。
- ・組織の一員となるためには人柄が重要であると考え、自分の良さをアピールするために表情や声のトーンを意識しながら練習した。
- ・官庁訪問の申し込みから本番までの時間が短く、対面形式の面接練習等はありませんでした。その代わり、興味のある分野や業務内容については深掘りされると思っていたので、答えられるように入念に準備しました。
- ・まずは業務説明会に出席して自分のやりたい業務をイメージし、その後テーマ別説明会でどの局に興味があるかを考えました。その後、座談会で官庁訪問に関する情報を聞いた。
- ・過去の内定者GUIDEBOOKを通して国土交通省に関する情報収集を行いつつ、パーソナルなことについても答えられるようにしていた。

など

官庁訪問編

Q 4

国土交通省への官庁訪問日と
官庁訪問で心掛けた事を教えてください。



訪問日

■ 1日目
□ 2日目
■ 3日目

※訪問日によって評価が変わることはありません。

Answer

- ・事前の座談会で面接では自分の言葉で答えることが重要と伺っていたので、暗記をしたのは基本的な質問のみで、他の質問に対しては頭の中で組み立てて話すようにしていた。
- ・一緒に働きたいと思ってもらえるように、笑顔で会話を楽しむことを心掛けていた。
- ・国土交通省が第一志望だったので、とにかく熱意を伝えることと、ありのままの自分を見せることを心掛けていた。
- ・会場では周りの受験者が気になってしまい不安になったが、自信を持って挑むことができるように待合室でも想定問答を考えていた。また、近くに座っていた受験者の方たちと会話をしてリラックスしていた。
- ・面接官の方の目を見ながら、自分の言葉で話すことを意識していました。聞かれたことに対しては簡潔に回答し、長く話しすぎないようにしていました。
- ・姿勢・表情・身だしなみといったファーストインプレッションを意識して臨みました。そして質問に対しては正直に答えることを心掛けました。
- ・自分の思いをすべて出し切る！という気持ちで臨みました。また自己開示が苦手なので積極的に自分のキャラクターをアピールすることを意識しました。

など



官庁訪問編

Q 5

官庁訪問で何か苦労した点がありましたか。

Answer

- ・ 地方から訪問したため情報収集が難しく、宿の確保や新幹線の予約に苦労しました。
- ・ 待機時間が長く緊張感もあるので、想像していた以上に気疲れをしました。
- ・ 他省庁を訪問した際には面接がうまくいかず、次もうまくいかないのでは、と弱気になってしまった。メンタル、モチベーション維持が難しかったです。
- ・ 当日の朝は余裕を持って家を出ましたが、電車の遅延によって到着が集合時間直前になってしまったことです。焦りと不安で押しつぶされそうでした。
- ・ 官庁訪問の前に行われる説明会から、連日ワイシャツを着る機会が続いており、毎回しわのないシャツを用意することに苦労した。3着程度は用意しておくと思います。

Q 6

官庁訪問の率直な感想を聞かせてください。

Answer

- ・ 待機時間は緊張していましたが、面接は和やかな雰囲気で行われたので落ち着いて話すことができました。
- ・ 想像してたよりも和やかで温かく、話した内容から考えを汲み取ってくださったので伝えたいことをきちんと話すことができました。官庁訪問は厳しく辛いイメージがあったため、和やかな空気を作ってくくださった職員の方々にも強く惹かれました。
- ・ 様々な公務員を併願していましたが、国土交通省の官庁訪問は、面接というよりは職員の方々とお話をするような形だったので、一番楽しかったです。
- ・ 事前に分かっていましたが、立て続けに何回も面接を受けるのは精神的に辛かったです。
- ・ 想像していたよりも早く終わりました。
- ・ 待ち時間は周りの受験者の方とお話をしていたので、同じ志望先の方たちと交流できる良い機会でした。

Next question>>

Q 7

官庁訪問の待機時間はどのように過ごしていましたか。
また、持ち物として準備しておいた方が良いものなど
ありましたら教えてください。

Answer

- ・近くに座っている受験生の方とお話をして緊張をほぐしていた。
- ・業務説明会に参加した際にもらった資料に目を通していた。
- ・前の面接で質問されたことや自分の回答を整理していた。待機時間が長くなる場合もあるので、想定問答の書いてあるノートや本持参して時間を有効活用すると良いと思う。
- ・待ち時間が長いと聞いていたので、本を持参して読んだり、面接のイメージトレーニングをしていた。しかし、私の場合は気持ちが落ち着かず、本の内容が頭に入らなかったです。
- ・待合室では軽食を取ることも可能なので、昼食とは別に飲料やお菓子などを持っていくと簡単に食べられるので良いと思う。

Q 8

官庁訪問前日の過ごし方を教えてください。

Answer

- ・特別なことはせず、1日のんびり過ごしていた。寝る前に国土交通省に関する情報のおさらいをしたり、自作した想定問答集を確認したりしていた。
- ・いつも通り過ごすことを意識し、アルバイトに行っていた。逆に普段と違うことをしないよう意識していた。
- ・家族に面接練習をしてもらった。緊張してあまり寝れなかった。
- ・気になるトピックのニュースを観ていた。自分の意見をしっかりと固めるように意識していた。
- ・地方機関の官庁訪問に行き、その後夜行バスで東京へ向かった。

Q 9

官庁訪問を振り返っての反省点を教えてください。

Answer

- ・ 自己分析にもう少し力を入れるべきでした。
- ・ 体調管理を怠らないようにすべきでした。
- ・ 待ち時間が長かったので、本などを持参すれば良かったです。
- ・ 話す内容も大事ですが、笑顔で話すことを意識すべきでした。
- ・ 官庁訪問の対策が直前での開始となってしまいましたが、もう少し早くから準備しておけば不安からくる緊張を和らげられたと思います。
- ・ 熱意が空回りしてうまく話せなかったです。力まずにリラックスして臨めば良かったです。
- ・ 自分が気付かない間に説明会が実施されていたこともあったので、イベント情報をこまめにチェックしておくべきだった。
- ・ 待機部屋で周りの受験生と会話をすれば良かったです。緊張をほぐすだけでなく情報共有もできると思います。
- ・ できることはやり切ったので特に反省点はないです。あまり緊張する必要はないと思います。
- ・ 思ったよりも早く面接に呼ばれ、心の準備ができていなかったことです。



官庁訪問編

Q 1 0

数ある内定の中から、最終的に
国土交通省への入省を選んだ決め手を教えてください！

Voice 1

一部の地域のみならず、地域を越えた業務に携わることができると考え、国家公務員を志望しました。その中でも、国土交通省の業務が一番携わってみたいと感じ、入省を決めました。

Voice 2

説明会や官庁訪問を通して、国土交通省の雰囲気が一番自分に合うと思ったからです。

Voice 3

国全体を動かす大きな仕事をしてみかったことと、地方公務員とは違い、自分の興味のある比較的狭い分野の中で仕事ができることに魅力を感じたからです。また、採用イベントや面接のときの職員の方々の雰囲気がとてもよく、自分もそのような組織で仕事をしたいと思ったからです。

Voice 4

大学で観光について学んでいたため、国土交通省、観光庁の話題を目にすることも多く、私も国家公務員として観光に携わりたいと考えたことがきっかけです。また、インフラにも興味がありました。

Voice 5

元々、国家公務員として日本全体の課題解決に関わりと思っていました。長年働くことを考えると、自分の興味がある分野で働きたいと思ったので、国土交通省を選びました。

Next >>



官庁訪問編

Q 1 0

数ある内定の中から、最終的に
国土交通省への入省を選んだ決め手を教えてください！

Voice 6

規模が非常に大きい仕事をする事が可能で、多くの国民の日々の暮らしをより良いものにできる職場は国土交通省しかないと感じたからです。また、合格することができた受験者同士や、先輩職員の方々とかかわる機会が多かったことも印象的でした。

Voice 7

国土交通省では地方自治体よりも日本全体での仕事ができるとともに、業界全体への影響力も強いと感じました。また、より影響力のある仕事に携わることが自分の思いにも通じると思い、国土交通省を選びました。

Voice 8

国家一般職として国土交通省の職員になれば、最終的には所属分野について詳しいスペシャリストになれるのではないかと思います、それが魅力的に感じたからです。

Voice 9

関わることができるトピックの規模感が大きかったからです。具体的には地方鉄道に対する支援策や公共交通再構築など、国全体を広い視野で見ながら業務に関わることができる点にも魅力を感じました。

Voice 1 0

一つの地域にこだわり続けて仕事するよりも、日本というスケールで様々な地域に関係するような仕事をしたいと考えたからです。また私自身が観光や鉄道が好きで、観光・交通政策に携わって仕事をしたいと考えたためです。

Next >>

Q 1 0

数ある内定の中から、最終的に
国土交通省への入省を選んだ決め手を教えてください！

Voice 1 1

国家公務員として幅広くの国民に対して
広く支える業務に携わりたいという思い
が強かったことや、中でも国民全体に関
係する分野について関わり力になりたい
と感じたことです。また、これから働い
ていく中で、後悔せず辛い時もくじけず
頑張ろうと思えるか、将来を想像して自
問自答した中で、国土交通省の職員とし
て働きたいという意思が強かったので決
めました。

Voice 1 2

他の併願先よりも実際に働いている職員
の方のお話を聞ける機会が多く、職場の
雰囲気がかみやすかったからです。

Voice 1 3

もともと第一志望であることや座談会な
どを通じて職員の方々が気さくで雰囲気
の良さを感じたため選びました。

Voice 1 4

観光に関わる仕事がしたいと考えたのが
国家一般職を目指したきっかけだからで
す。観光庁について調べる中で、国土交
通省全体の業務にも興味を持ったため、
絶対に国土交通省で働きたいと考えてい
ました。

Voice 1 5

生まれてから大学生まで地元の新潟で過ごしてきたが、新潟を出て新しい場所で生活したい
と考えたから。



Q 1 1

官庁訪問や説明会などのイベントを通しての
国土交通省職員の印象はいかがでしたか？

◎親しみやすい！！

◎職場の雰囲気がよさそう！

- ◎質問に対して親身に答えてくださってとても嬉しかったです。職員の方から優しく話しかけてくださって、話しやすい環境を作ってくれました。入省後、分からないことや困ったことがあったら気軽に相談できそうだと感じました。
- ◎座談会では、現役職員の方に国会対応業務についてなど実際の働き方を交えつつ、具体的に教えていただいたので、より国土交通省のことを理解できました。
- ◎とても真面目に業務を説明されていた中でその業務の楽しさややりがいについて深く説明してくださったので、今の業務にすごく前向きなんだなと思いました。
- ◎とても親切な方が多いと思いました。官庁訪問の際に地方から来たため荷物が多かったのですが、対応や配慮などを親切にしてくださった点や、質問にも丁寧に回答してくださったためこのように感じました。
- ◎雰囲気の明るさが印象的でした。どのイベントでも職員の皆様が真面目な様子であった一方、温和で優しくそうだなという印象を持ちました。私が公務員試験で経験した一番のギャップでした。
- ◎想像していたよりも若い職員の方がお話をされていて驚いたと同時に、自分も最初から大きな仕事を任せてもらえるのだと感じました。



〔業務説明会〕

Next topic>>

1

概要説明

2

国家公務員採用試験対策

3

官庁訪問対策

4

その他お役立ち情報満載

内定者インタビュー・・・・・・・・・・ P 28～35

若手職員の1日を紹介・・・・・・・・・・ P 36

よくある質問解消してみた・・・・・・・・ P 37～38

キャリアパスと採用実績・・・・・・・・・・ P 39

アクセス・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 40

内定者インタビュー

内定者を代表して、7名の方にインタビューを行いました！
国家公務員を目指したきっかけや国土交通省の志望動機、国土交通省を目指す皆様へ向けたメッセージもあります！
内定者からのインタビューに先駆けて、採用担当の2年目・男性職員にインタビューを行いましたので、まずはこちらから目を通してみてください！

Y・Sさん(2年目・採用担当)

①学部・学科

法政経学部・法政経学科

②部活・サークル

サッカー、バンド

③趣味／特技

ゴルフ、サウナ巡り／ピアノ

④アピールポイント

メリハリをつけて公私ともに充実させる！

⑤今後の予定

ゴルフレッスン受講、お気に入りの居酒屋をリスト化する



～国土交通省を目指す学生へ採用担当からメッセージ～

私はまもなく入省して3年目を迎えます。R6年度から採用担当として、説明会や官庁訪問などで学生の皆さんと関わる機会をいただいております。全国各地の学生の皆さんから就職先として国土交通省を選んでいただけるのは、本当に嬉しく、今の業務のやりがいの一つでもあります。私も学生時代、自分が社会人になった姿は全く想像がつかなかったですが、今は仕事も遊びもメリハリをつけて全力で取り組み、充実した日々を送っています！
公務員試験は、幅広い範囲の筆記試験対策と複数の併願先の面接対策が必要で、精神的にも身体的にも負荷がかかると思います。しかし、公務員になりたい！という強い気持ちを持って、この長期戦を乗り越えてください！皆さんと国土交通省の職員としてお会いできることを楽しみにしております！

Profile No.1

K・Aさん(男性・既卒)

①学部・学科

法学部・法律学科

②部活・サークル

③趣味／特技

サウナ、観葉植物の栽培／暗算

④アピールポイント

他者の意見を尊重し、話を聞くことができる

⑤今後の予定

旅行、買い物



～国土交通省の志望動機を教えてください～

私は規模感の大きな仕事を通して人々の豊かな生活に貢献したいという思いから国家公務員を志望しました。その中で国土交通省を志望した理由は私の好きな観光や物流、人流分野を通じて日本全体の活性化に貢献できる業務に魅力を感じたからです。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

新卒の受験生が多い中で不安に感じることも多いと思いますが、既卒だからこそ新卒とは違ったアピールが強みになると実感しています。公務員試験は大変長丁場ですが、自分を信じて継続できれば良い結果につながると思います。実際に公務員として働く自分を想像し、モチベーションを維持し続けながら頑張ってください。

Profile No.2

K・Uさん(女性・既卒)

①学部・学科

国際観光学部・国際観光学科

②部活・サークル

ダンス

③趣味／特技

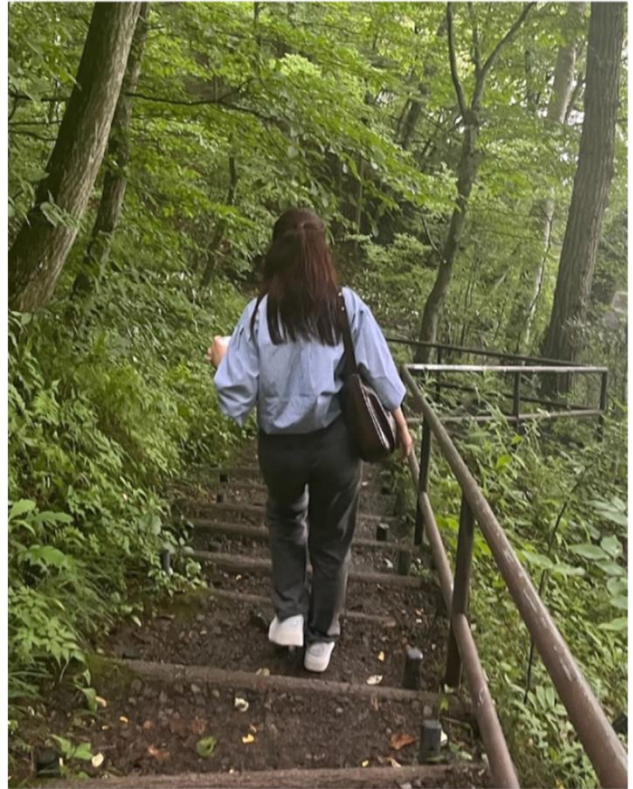
編み物／水泳、ダンス

④アピールポイント

目標に向かって真面目に取り組むこと

⑤今後の予定

実家に帰省、旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

大学で観光について学んでいたため、国土交通省、観光庁の話題を目にすることも多く、私も国家公務員として観光に携わりたいと考えたことがきっかけです。また、海事局等インフラにも興味がありました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

私は、24卒の同い年の学生より半年卒業を伸ばし、1つ後の25卒として就活をして10月から採用していただくことになりました。もし私と同じような状況の方がいらっしゃったら、周りの友達が卒業したり、社会人になっていったりすると、自分は追いつけてない、遅れているのではと不安になることがあると思います。しかし、自分が決めたことを信じて最後まで諦めずに行動していれば必ず良いことがあると思います。応援しています！

Profile No.3

R・Iさん(女性・新卒)

①学部・学科

文学部・人文科学科

②部活・サークル

基礎スキー部

③趣味／特技

旅行

④アピールポイント

周りがよく見えているマイペース

⑤今後の予定

卒業論文、海外旅行、車の運転練習



～国土交通省の志望動機を教えてください～

自分が興味のある交通や観光といった面から、就活の軸としていた誰もが自分らしく生活できるような支援をすることができ、国ならではのツールやフィールドを持ってやりがいを持って働けるのが国土交通省で、魅力的だったからです。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

健康が何より大事です！公務員試験に向けてどんなに頑張ったとしても試験日や面接日のコンディションが悪かったらどうにもなりません。勉強を頑張る自分に定期的に美味しいご飯やご褒美を与えましょう。公務員試験はどうしても民間と比べて長丁場になるので、頑張り続けるのは辛いかもしれません。ですが、何事も割り切って頑張れば良いと思います。みなさんが満足のいく就職先につけるように応援しております！

Profile No.4

T・Kさん(男性・新卒)

①学部・学科

農学部・生物資源科学科

②部活・サークル

③趣味／特技

バイクで旅行、キャンプ／写真を撮ること

④アピールポイント

気遣いできること、傾聴力

⑤今後の予定

旅行、博物館めぐり、図書館で一日中読書



～国土交通省の志望動機を教えてください～

国全体の交通ネットワークの構築に貢献したいと考え、志望しました。昔から鉄道やバスを利用した旅行が好きで、さまざまな人や場所との出会いを提供してくれる交通インフラの整備に携わりたいと考えていました。そんな中、国土交通省の説明会に参加し、幅広い業務を通じて国全体の交通基盤整備に関わることができる点に魅力を感じたことから、国土交通省を志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

今はとにかく前を向いて進んでください。将来に向けて悩みや不安が出てきて何も手につかなくなる日もあるかと思います。そんな時は焦らず自分自身と向き合って心の声をしっかりと聞いてあげてください。そうすればどんな進路であれ、後悔しない選択になると思いますし、後から振り返った時に「自分自身と向き合う事から逃げないで努力できた」という経験は大きな自信に繋がるはずです！もしそれが国土交通省に入省することならあとはもう突っ走るだけです！頑張ってください！

Profile No.5

K・Nさん(男性・新卒)

①学部・学科

文理学部・哲学科

②部活・サークル

サッカー

③趣味／特技

スポーツ観戦／サッカー

④アピールポイント

コミュニケーション能力

⑤今後の予定

海外旅行、筋トレ



～国土交通省の志望動機を教えてください～

日本国内の観光地や文化をPRし、国民や外国人が旅行を楽しむことができるような国づくりに関わりたいと強く感じたため志望しました。海外へのプロモーション活動などを通じ国際的に活躍でき、自分自身の成長につなげることができることも魅力に感じました。また、ライフワークバランスも充実していることから、仕事と私生活の両立が図れると感じ志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

最後まであきらめずに、これまでの成果を発揮してください！

Profile No.6

K・Mさん(男性・新卒)

①学部・学科

文学部・史学科

②部活・サークル

スキューバダイビング

③趣味／特技

プロ野球観戦

④アピールポイント

誰とでも仲良くなれるコミュニケーション能力

⑤今後の予定

卒論、旅行、外国語の勉強



～国土交通省の志望動機を教えてください～

国や人のために働く国家公務員の姿が立派でかっこいいと感じて、自分もなりたいたく思うようになりました。その中で国土交通省を選んだ理由は、小さい頃から乗り物が好きで、人と物を運ぶ交通インフラを支えていきたいと考えていたからです。交通インフラの整備を通じた都市開発、地域創生にも興味があったので、民間企業には就職せずに公務員を目指しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

私にとって、これまでの人生で最も努力したのが公務員試験の勉強でした。一年間、ひたすらに自分との闘いが続くので、抱え込んだり、やめたくなったりすることがあると思います。しかし、これまでやってきたことを信じて突き進めば、その努力が報われる日が必ずやってきます。自分のやりたいことに対してまっすぐに、自分のペースで進んでいきましょう。皆さんが国土交通省で働くことができるよう、応援しています！

Profile No.7

K・Yさん(女性・新卒)

①学部・学科

法学部・法律学科

②部活・サークル

バスケットボール

③趣味／特技

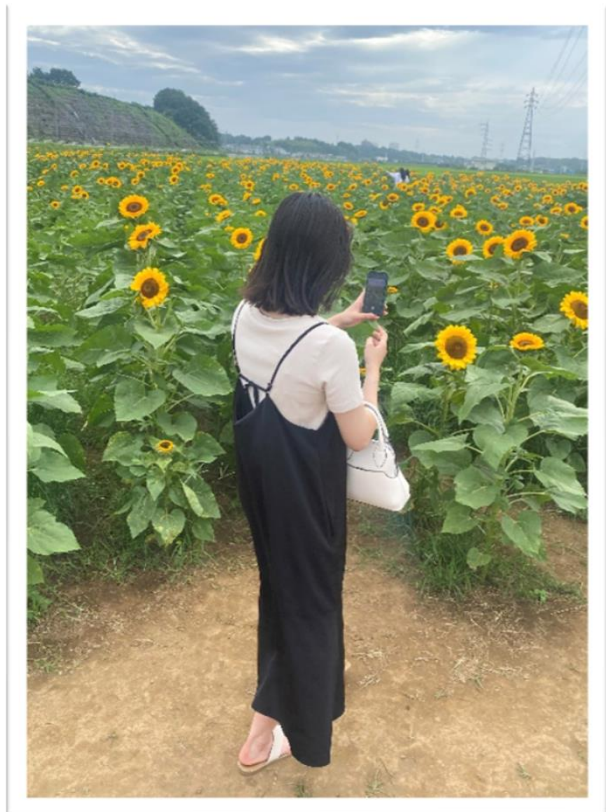
ランニング、散歩、旅行

④アピールポイント

継続力

⑤今後の予定

旅行



～国土交通省の志望動機を教えてください～

私は父が運輸業界の会社に勤めていた影響でもともと交通インフラに興味を持っており、それに関する職業に就きたいと考えていました。その中でも国家公務員として、公共交通機関の維持や利便性の向上を通して人々の移動手段を確保することで国民全体の生活を支えたいと思い、国土交通省を志望しました。

～国土交通省を目指す学生へメッセージ～

一次試験から官庁訪問、そして最終合格まで道のりは長く、不安になることや諦めたくなることがあるかもしれませんが、試験日ぎりぎりまで勉強を続ければ得点は伸びていきます。官庁訪問においては国土交通省について沢山調べ、その熱量や想いを面接の時に伝えることが大事になってくると思います。モチベーションを最後まで保てるように時には息抜きしつつ、粘り強く頑張ってください！応援しています！

わたしのとある 1 日

実際に自分が働くこととなった場合にどのような 1 日を過ごすのか、少しでもイメージを持ちやすいようにとインタビューに答えていただいた Y・S さんがご自身のとある 1 日を紹介してくれました！

基本的な就業時間は、9:30～18:15（休憩1時間含む）となります。

7:30



起床



9:15



登庁

朝は余裕をもって出勤！

9:30



始業

午前中は主にメールや電話対応

12:00



休憩

13:00までお昼休憩
同僚と昼食！

13:00



始業

午後は課内や係内での打ち合わせや資料を作成し、作成した資料を上司に確認してもらう等



18:15



退庁

19:00



帰宅

帰宅後はゴルフの練習や同僚とご飯に行ったりフレッシュ



24:00



就寝



よくある質問 解消してみた。

業務説明会などでよくいただく質問に回答。
業務説明会でも沢山の質問にお答えしていますので
是非気軽に参加してみてください！

Question 1 採用にあたっては、どのような人材を求めているのですか。

ローカルからグローバルまで、幅広いフィールドで活躍する人材として、幅広い分野への興味、広い視野、高いプロ意識を持って現場と向き合い、着実に日本を良くしていこうという志をもった方を求めています。

Question 2 業務説明会の参加・不参加は、採用の可否に影響がありますか。

人事院主催の説明会や、国土交通省独自に開催する説明会は、当省の業務内容を多くの方々に知って頂くための機会と捉えています。
従って、説明会への参加・不参加が、採用にあたって不利益になるということはありません。
ただ、こうした説明会は業務内容についての理解を深められるだけでなく、実際に働いている職員の生の声を聞ける良い機会でもありますので、是非積極的にご参加下さい。

Question 3 出身校や学部、公務員試験の順位や年齢（民間経験有り）は、採用の可否に影響がありますか。

公務員試験に最終合格すれば、その後の官庁訪問において、上記の条件により不利・有利の差が出ることはありません。
国土交通省では、人物重視の面接を行っています。

Question 4 配属や異動はどのようにして決まるのですか。

国土交通省の業務は多様であるとともに、社会の動きに応じて日々変化しています。
したがって、配属や異動については、それまでに得てきた知識・経験、本人の希望・適性等を総合的に踏まえて決定されます。

Question 5 本省以外の職場で働く機会がありますか。

地方運輸局などの地方支分部局において、より地元に着目した場面で国土交通行政を担う機会があるほか、他省庁や地方公共団体に出向し、国土交通省の職員として培った知識・経験を活かして地方行政に携わるチャンスもあります。また、在外公館での勤務や本人の努力次第では海外の大学院に留学する機会もあります。

Question 6 女性にとって働きやすい職場ですか。

国土交通省では既に多くの女性職員が働いており、女性だから、男性だからということで仕事の内容に差はありません。また、産前・産後休暇、育児休業等の制度もあり、結婚・出産後も活躍している女性が増えてきています。

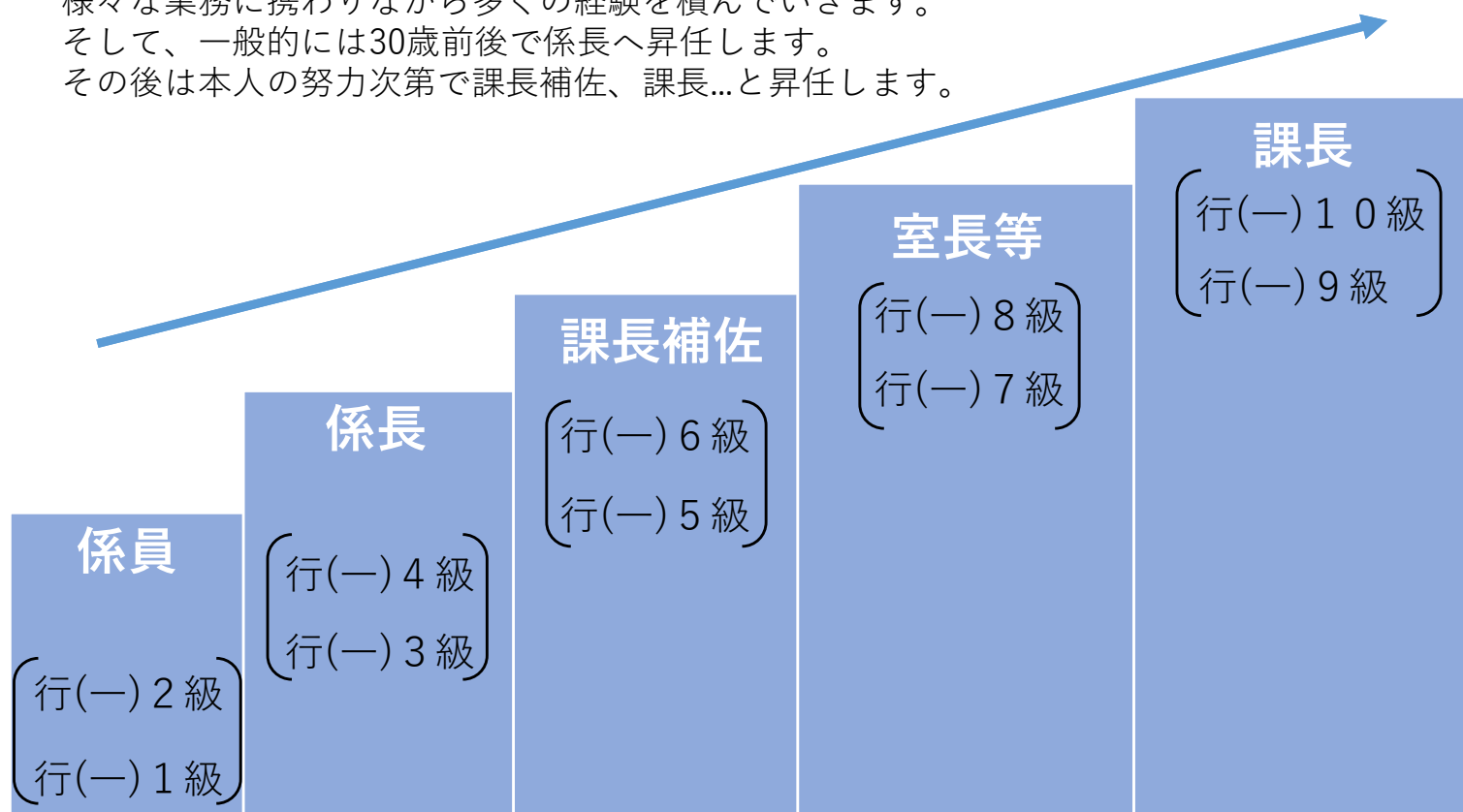
Question 7 モビリティ・観光立国系では内定後、入省までの間に何かイベントなどがありますか？

令和6年度は、座談会や懇親会、施設見学を行いました。
座談会では、採用担当職員以外にも様々な部局から内定者と年齢が近い若手職員が参加していました！内定者からは、職員と色々と話せたことで、より明確に入省後のイメージが出来たなどの声をいただいています。座談会の後は、採用担当と内定者で懇親会を開催し、この先同期となる仲間との絆を深める機会もありました！
また、施設見学では防災センターへ行き、設備の説明などを受けていました！



キャリアパス

採用直後は、本省係員として各局等の課や室などに配属されます。
配属後は人事異動により、概ね2～3年のサイクルで担当業務が替わり、
様々な業務に携わりながら多くの経験を積んでいきます。
そして、一般的には30歳前後で係長へ昇任します。
その後は本人の努力次第で課長補佐、課長...と昇任します。



基本的には、本省（霞ヶ関）での勤務が中心となります。
本人の希望を考慮した上で、2年程度、地方機関や自治体等、
様々な職場で活躍するチャンスもあります。

採用実績

採用実績		R4	R5	R6
一般職（大卒程度）	事務系	61(19)	55(19)	71(28)

※実績は、社会資本整備系との合計数になります。
※（ ）内の数は、女性採用者数です。

◎新卒に限らず、既卒者の採用も積極的に行っております！

アクセス情報

【所在地】

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2-1-3中央合同庁舎3号館

東京都千代田区霞が関2-1-2中央合同庁舎2号館（分館）

代表番号 03-5253-8111

【最寄り駅】

東京メトロ丸ノ内線・日比谷線・千代田線 霞ヶ関駅 A2、A3a、A3b出口

東京メトロ有楽町線 桜田門駅 2番出口



